

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2009.11.9

No.1932
No.15



出席率 | 会員54名中44名

先々週の出席率 | 89.80%

ゲスト | (有) 野中商店

山浦克郎さん 高橋秀明さん

ヴィジター | 三条RCより 斎藤弘文君

先週の
メイクアップ | 11/4 三条RCへ 馬場一敏君 長谷川晴生君
嘉瀬 修君

11/8 新井RC創立50周年記念式典へ
馬場信彦君 荊澤喜一郎君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長
佐藤 嘉男

挨拶をさせていただきます。

7日午前六時、大溪先生のお母様が亡くなりました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

さて、先週 10月31日(土)ー11月1日(日)の2日間、新潟でライラ研修がございました。新世代奉仕委員会の谷委員長、坂井副委員長から出席していただき、野中商店の山浦克郎さん、高橋秀明さんのお二人より研修生としてご参加いただきました。有難うございました。後程、参加されての感想をお話いただきます。

植木ガバナーより、このライラにつきまして公式訪問時に私が質問致しましたことに対し、感想を交えてのご報告を書面にて頂戴致しました。

謹啓

冬近しのこの頃ですが、いかがお過ごしのことでしょうか。

さて7月27日の三條南クラブの公式訪問時に、佐藤会長様からのご質問がありました「ライラ研修」の件につきまして、10月31日から11月1日にかけて新潟市で開催されましたので、感想をまじえましてご報告をさせていただきます。

当日はロータリアンと研修生をあわせて102名の参加でございました。最年長者は70歳の女性の方がおられました。

今回のライラ研修会は、新世代委員会のライラ委員会が中心となり「未来はあなたの手の中に(自分が源泉)」というテーマのもとに、未来を担う若者が楽しみそして友人を作りながら実践的な研修を通じ、新たな可能

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー [スコットランド]
第2560地区ガバナー 植木 康之 [柏崎]
第4分区AG 米山 忠俊 [三条北]
会 長 佐藤 嘉男
幹 事 荒澤 威彦
S A A 熊 倉 高 志

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

性を発見し、自分の存在価値を表現できる人生を送っていく為の体験学習の場として、ローターアクト、インターアクト、青少年交換留学生、米山奨学生そしてロータリアンの子弟はもとより、ロータリアンの企業の若手社員の皆様等、多くの方から参加をしてもらい、一人ひとりの資質の向上を図ると共に、多くの参加者に新たな発見と体験感動を味わってもらい、これからの活動の糧にしてもらおうと計画されました。

参加者は最初の日は、まだ何となく研修に参加しているとの空気がありましたが、一泊して次の日には、前日の懇親の成果も有ったのでしょうか、空気が変わって皆さん積極的に研修に取り組んでいる感じを受けました。

若者にこのような機会を設けてやる事は、直ぐには響かないけれど、少し長いスパンで考えてやる事により、この経験が生かされてくるものと感じました。このようにライラ研修の良し悪しは、少し長い目で見てあげる事が大切なのではないかと、感じました。

佐藤会長様への答えになったかどうかは不明ですが、参加した私の感想でした。

謹白

今年度は、周年事業の当たり年で、新潟 RC の 70 周年を筆頭に 50 周年が 6 クラブ、全部で 11 クラブの周年事業がございます。そんな中で長岡東 RC の 50 周年は他クラブに参加要請をしないもので、実質 10 クラブの周年事業に参加することになりそうです。

昨日は新井 RC の 50 周年に馬場パストガバナーと出席して参りました。妙高市は、三条の合併より 1 ヶ月前の 2005 年 4 月に新井市・妙高高原町・妙高村の 3 市町村が合併した人口 39,150 人の町です。当時、合併に動いていた私が新井の人に聞いた話ですと、新市の名前は“新井”に拘らず、他町村の意見に任せるということで“妙高市”になったと聞いております。

そんな新井 RC の 50 周年は簡素で素晴らしい周年事業でした。記念演奏会で高田駐屯地音楽クラブの演奏があるために、開会のファンファーレを音楽隊の人が行い、とても感動しました。演奏会も素晴らしく、最後に参加者全員で生バンドで初めてロータリーソングを歌いこの演出にも感激致しました。

祝賀会に移り、乾杯の後フラダンスのアトラクションがあったのですが、もう全員がお酒を飲んでいるためほとんどの人が見ておらず、かと言って、乾杯前ですと時間がかかりすぎ、これは一番難しいところだと感じた次第です。

幹事報告

荒澤 威彦 幹事

三条ローターアクトクラブより

会員増強イベント『カクテル講習会』開催 再度のご案内と協力をお願い

日時 2009年11月14日(土) 19:00~

会場 オールドバー モンツア 三条市本町2-7-25

参加費 ビジター 1,000円 ロータリアン 4,000円

※ 従業員の方々等で18~30歳の方にお声掛けいただき、多くの参加をいただきたくご協力を再度お願い致します。今後も三条 RAC の会員増強にお力添えをよろしくお願い申し上げます。

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~11月9日 12,000円
今年度累計 235,000円~

佐藤(嘉)君 日本シリーズ、4勝2敗で昨年の雪辱を果たし、巨人軍が7年ぶり21回目の優勝をしました。バンザイです。

荒澤君 ライラ研修生の山浦さん、高橋さん、今日は有難うございます。

野中君 本日は、ライラ研修の発表です。我社の2人をよろしく願い致します。

谷君 10月31日、11月1日、ライラ研修に参加された山浦さん、高橋さん、ご苦労様でした。BOXに協力!

坂井(栄)君 山浦君、高橋君、ライラ研修おつかれさまでした。

田代君 ライラ研修、ご苦労さまです。BOXに協力致します。

馬場(輝)君 先週4~5日、新宿と東京ビックサイトの展示会4つを回って来ました。その中のセミナーで、スポーツジャーナリスト二宮清純さんの「楽天前監督 野村さんから学ぶ経営学」はとても勉強になりました。

若井君 柏崎の松雲山荘のモミジがとてもきれいでした。本日は早退させていただきます。

坪井君、野崎君、馬場(一)君 BOXに協力致します。



第9回RYLA研修

10月31日(土)・11月1日(日) 於: 学生総合プラザ「STEP」
テーマ「未来はあなたの手の中で ~自分が源泉~」

「ライラ研修報告」

新世代奉仕委員長

谷 晴夫 会員



最初に「ライラ研修」にあたって研修生2名を派遣していただいた野中商店の野中さんに感謝申し上げます。また、貴重な土曜、日曜に時間を割いて参加して下さいました野中商店の山浦克郎さん、高橋秀明さんにも感謝申し上げます。

今年の「ライラ研修」は10月31日、11月1日の2日間にわたり新潟市にある学生総合プラザSTEPにて行われ、副委員長の坂井栄作さんと二人で参加して来ました。

10月31日は朝の9時から21時までの12時間、翌11月1日は朝の6時から18時までの12時間、2日間48時間のうち24時間にわたる研修でした。

ライラ研修は、毎年、ホストクラブによって研修内容が違います。今年は、NPO 人間未来21の竹内譲氏によって「心の学校」のセミナーが行われました。テーマは「未来はあなたの手に」であり、サブタイトルが「自分が源泉」です。

このセミナーの目的を国際ロータリー第2560地区のライラ研修実施要綱では次のように示しています。

【次世代を生き抜いて行くには、より順応性のあるしっかりとした人間形成が求められています。未来を担う若者が楽しみ、友人を作りながら実践的な研修を通じ、さらに成長することを願い企画したライラです。皆さんが新たな可能性を発見し、自分の存在価値を表現できる人生を送っていくための体験学習の場となる研修です。】としています。

この研修セミナーは「心の学校」というように「自分の心」キーワードでした。何をするにも自分の心が決まる。つまり自分が源泉であるということは何度もいろいろな体験学習で学ぶセミナーでした。

「ライラ研修を終えて」

(有) 野中商店

山浦 克郎さん



この度、10月31日、11月1日の二日間、新潟市の学生総合プラザSTEPにて行われたライラ研修に参加させていただきました。

今回の研修は、NPO 法人人間未来21の竹内譲氏を迎え、…心の学校…「未来はあなたの手の中に ~自分が源泉~」をテーマに、メモは禁止、心で感じ自ら体験するというものでした。

「人生は有限である」という言葉から講演は始まり、冒頭から自分のこれまでを振り返り、今現在を見つめ、これから先を考えさせられるものでした。限られた時間の中で、自分がどうしたいか、だから今何をするのか、これらを意識して生活するだけで人生の厚みや濃度が大きく変わる

ということを学びました。

他にも、班やペアを作りゲームを通じて体験したり、ディスカッションもしました。一番印象に残っているゲームは、「意図と方法」を認識するゲームです。会場の真ん中にイスを離して置き、イスからイスまでの距離を歩く、但し他の人と同じ歩き方をしてはいけないというルールでした。結果、目的を達成するためには方法はいくらかでもあるということが目の前で立証されました。

私はよく“どのようにしたら?”と方法を頭でっかちになって考えてしまいがちですが、まずは目的・目標をしっかり掲げることが第一条件であるということだけを頭に置いて考えようと、今後に大いに活かせる発見ができました。

班の方々とのディスカッションにおいては、初対面で同じテーマに関して話すという共通点以外にも関わらず次第に打ち解け、共感するものや発見するものが沢山あり、とても有意義なものになりました。

また、リーダーとして成長するためのお話も沢山あり、常日頃感じていることを思い出し考えながら聞き入ってしまいました。言葉というのはとても重みや説得力があり、相手の感情やモチベーションだけでなく、時に人の人生を大きく左右させてしまうという話を聞き、指導の難しさや大切さを再認識すると同時に、人と人が繋がっていく上での今後の大きな課題となりました。

この研修を通して、以前私が縁というものを物凄く意識して生活していた時期を思い出しました。縁によって広がる無限の可能性の中で、沢山の自分を発見できたり、自分を支えてくれている多くの人の愛が、こんな君もあるんじゃない?という提案をしてくれたり、反省や成長があったことを思い出しました。

多くの人の支えの中に自分が存在していることを忘れず、愛を持って接し、その時その瞬間を確実に捉えて生

活していこうと思います。生きたいように生きるという先に、人のためにもなって良かったというのが見えてくるような生き方をしていこうと思います。

最後に、このような機会を与えて下さった三条南クラブの皆様、一緒に同行して下さいました谷様、坂井様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

「ライラ研修に参加して」

(有)野中商店

高橋 秀明さん



今回のライラ研修のテーマは、「未来はあなたの手の中に～自分が源泉～」 このテーマを元に百人程の研修生達と二日間、研修をして来ました。

具体的な内容は、「自分の責任において人生を選択し、自信に輝いて生きる」といった感じのものでした。

一番印象的な話して講師の竹内先生は、こんな問いをしてきました。「人生の分岐点とは？」 成功する人、しない人の違いは何ですか？ 自分の中で成功する人とは、思い立ったら即行動する人だと思っていました。逆に成功しない人とは、自分の意見などをはっきり言わ

ないままにしておく人は損をするので失敗するのだと思いました。

話によると、成功する人は、自身が決定権を持っているそうです。問題を抱えた時、自分自身が決断を下し、道を切り開き、新たな可能性を生み出すことによって成功へつながるそうです。逆に、成功しない人は、周囲の意見しか取り入れないので、自分の可能性に気づかず、自分で可能性を狭めるそうです。この時決定権は、自分ではなく、周囲の人が握っていることがわかりました。

人に言われてやるのと自分からやるのでは大きな違いがあるように、自ら挑戦することで新しい自分に気づくのだと思いました。自分は基本、人任せなので、これからは、自分から行動、提案ができる、決断を下すことのできる人になりたいです。

今回、この研修を通して初めて自分と向き合う貴重な時間を体験することができました。とても充実した二日間でした。機会があればまた参加したいです。

ROTARY NEWS

「友」インターネット速報

No. 404

2009年11月10日

ユーモアあふれる募金活動

ノルウェー人は物語、特にコメディが好きです。笑い話やジョークを集めた本を作って、ロータリーの2億ドルのチャレンジの募金を集めよう、というガムレビエン・フレドリクスタロータリークラブのアイデアは、たちまち現実のものとなりました。『Humorleksikonet Skrattekammeret (笑いの部屋)』と題したこの本には、ノルウェーの330クラブから集められた1,201話が収められ、発行から数週間で1,500部を売り上げました。定価50ドルのうち12ドルがチャレンジに寄付されます。

プロジェクトは約1年かかり、出版には他クラブの会員が力を貸しました。クラブの元会長でプロジェクトを監督したヤン A. バトンさんによると、最初の目標はノルウェーの全会員に本を買ってもらい、7万2,000ドルを集めることでしたが、反応は期待以上。複数冊買ってくれる人が多く、今はノルウェーの全クラブで10万ドルの寄付を目標にしています。

本を翻訳する計画は今のところありませんが、バトンさんは、他国のロータリアンもその国の言語で笑い話を集めた本を作ってほしいと考えています。「このアイデアについて商標は取っていませんから」と。

この辺でちょっと一休み

江戸山唄

深謀遠慮

とんだ不孝者がございまして常日頃、父親を平気で打擲いたします。ところがこんな倅の子でも孫ともなれば可愛がりようはまた格別でございまして近所の者が「お孫さまはそんなに可愛いものでございませうか」と聞きますと「いえ、せめていずれば孫に日頃の無念を晴らしてもらおうと存じまして……」

(寛政三、太郎花)

東京銀座RC元会員

岡田晃雄著

「江戸小咄和英文柄」から



表紙について

ルイ-ジョセフ

ラファエル・コラン

(1850-1916)

「帽子を持つ婦人」

L.J.R. COLLIN

1894年

*福岡市美術館

ロータリーの友 1990年4月号表紙よ

三条南ロータリークラブ週報

2009.11.9

No.1932 No.15